

市内遺跡

発掘調査報告書31

令和4年度

青森市教育委員会

例　　言

1. 本書は、国と県の補助金交付を受けて令和4年度に実施した市内遺跡発掘調査等事業の報告書であり、分布・試掘・確認調査等の成果を収録したものである。
 2. 成果を収録した遺跡および地区は下記のとおりである。なお、新城平岡（4）遺跡、安田近野（2）遺跡は、令和3年度報告後に調査を実施した遺跡である。
 - [1] 分布調査：飛鳥地区、内真部城館群、内真部・奥内・瀬戸子地区
 - [2] 試掘・確認調査：新城平岡（4）遺跡、安田近野（2）遺跡、女鹿沢野尻遺跡、柴山（1）遺跡、後潟（1）遺跡、葛野（1）遺跡、三内沢部（3）遺跡①、雲谷山吹（1）遺跡、沢田遺跡①、近野遺跡、沢田遺跡②、東造道遺跡、月見野（5）遺跡、新城平岡（3）遺跡、内真部地区、安田（1）遺跡隣接地、夏井田（9）遺跡、中道遺跡、三内沢部（3）遺跡②
 3. 本書で使用した「試掘調査」とは、埋蔵文化財の有無を確認するための調査（未登録地の調査）、「確認調査」とは周知の埋蔵文化財包蔵地の内容等を把握するための部分的な調査を示す。
 4. 本書の作成および編集は青森市教育委員会が行った。
 5. 摂図の縮尺は各図にスケールを付した。なお、写真図版の縮尺は統一していない。
 6. 図版番号および表番号ならびに写真番号は、「第〇図」、「第〇表」、「写真〇」とし、順番に通し番号を付した。
 7. 出土遺物及び原図・データ等は、一括して青森市教育委員会が保管している。
 8. 第Ⅲ章第1節に報告した内真部城館群の分布調査については、五所川原市市浦総合支所主幹兼地域振興係長　柳原滋高氏よりご指導をいただいた。また、次の各位からご協力を賜った。記して感謝を表する次第である（敬称略・順不同）。
- 田中　洋一、村田　健一、奥谷　誠一、鈴木　和子、岩田　安之、最上　法聖、前田　武一

目 次

例言

目次

第1章 事業実施の概要

第1節 調査要項	1
第2節 事業照会の概要	1
第II章 埋蔵文化財包蔵地の登録等	
第1節 新規登録・範囲変更遺跡	14
第III章 分布調査及び試掘・確認調査	
第1節 分布調査	16
第2節 試掘・確認調査	
1. 新城平岡(4) 遺跡	21
2. 安田近野(2) 遺跡	21
3. 女鹿沢野尻遺跡	21
4. 栄山(1) 遺跡	21
5. 後渕(1) 遺跡	21
6. 葛野(1) 遺跡	22
7. 三内沢部(3) 遺跡①	22
8. 雲谷山吹(1) 遺跡	22
9. 沢田遺跡①	22
10. 近野遺跡	23
11. 沢田遺跡②	23
12. 東造道遺跡	23
13. 月見野(5) 遺跡	23
14. 新城平岡(3) 遺跡	23
15. 内真部地区	24
16. 安田(1) 遺跡隣接地	24
17. 夏井田(9) 遺跡	24
18. 中道遺跡	24
19. 三内沢部(3) 遺跡②	24
報告書抄録	46
既刊埋蔵文化財関係報告書一覧	

第Ⅰ章 事業実施の概要

第1節 調査要項

1. 事業目的

青森市内においては、住宅建築を主とした建設計画等の増加により、破壊・消滅の危機に瀕している遺跡が認められる。貴重な埋蔵文化財を保護し、各種開発行為との円滑な調整を図るために、周知の埋蔵文化財包蔵地の現状把握や、今後開発が予想される地域における未発見の遺跡の新規登録など詳細な基礎資料を整備する必要がある。

以上の点を踏まえ、周知の埋蔵文化財包蔵地およびその隣接地の分布調査や開発行為に先立つ試掘・確認調査を実施するものである。なお、本事業は、国・県の補助金交付を受けている。

2. 対象地域・遺跡名

[1] 分布調査 飛鳥地区、内真部城館群、内真部・奥内・瀬戸子地区

[2] 試掘・確認調査 新城平岡(4)遺跡、安田近野(2)遺跡、女鹿沢野尻遺跡、榮山(1)遺跡、後潟(1)遺跡、葛野(1)遺跡、三内沢部(3)遺跡①、雲谷山吹(1)遺跡、沢田遺跡①、近野遺跡、沢田遺跡②、東造道遺跡、月見野(5)遺跡、新城平岡(3)遺跡、内真部地区、安田(1)遺跡隣接地、夏井田(9)遺跡、中道遺跡、三内沢部(3)遺跡②

3. 事業実施期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

4. 調査指導機関

文化庁文化財部文化財第二課
青森県教育文化財保護課

5. 調査体制

調査事務局

教育長 成田一二三(～R4.6.2)

工藤 裕司(R4.6.3～)

教育部長 小野 正貴

教育次長 大久保綾子

秘書課長 葛西 俊一

主幹 児玉 大成

主査 工藤 洋樹

〃 石戸谷 勉

文化財主査 木村 淳一(調査担当)

〃 設楽 政健(調査担当)

主事 長崎 泰幸

第2節 事業照会の概要

当委員会では、遺跡と開発事業との円滑な調整を図ることを目的として、開発に際しては予定地内の遺跡の有無を事前に照会するよう、市広報誌やホームページで呼びかけている。照会については、個人や民間事業者(以下、民間)と市関係課(以下、府内)からのものがあり、民間については、文化遺産窓口での直接照会のほか、メール・FAXでも受け付けている。府内については、4月に全庁一斉照会を実施しているほか、開発計画の都度寄せられた照会に対応している。

照会の概要については、昨年度報告分以降、2021年12月～2022年11月における民間分を第1表、同時期の府内分を第2表に示した。照会件数は、2021年度分(2021年12月1日～2022年3月31日)で計289件・353箇所(民間261件[261箇所]、府内関係28件[92箇所])、今年度分(4月1日から11月30日)は、計779件・1022箇所(民間721件[721箇所]、府内関係58件[301箇所])の照会があった。今年度分の照会件数を前年度の同時期(計818件・1137箇所、うち民間734件[734箇所]、府内関係84件[403箇所])と比較すると、民間・府内ともにやや減少している。

対象地区毎の民間・府内を合わせた照会件数は、青森地区1298箇所(94.4%)、浪岡地区77箇所(5.6%)であり、昨年度以上に青森地区の割合が多くなっている。青森地区の割合を詳細みると、青森地区では、石江・三内・沖館・富田・新田などを含めた西地区で22.7%、次いで岡道造・合浦・小柳・八重田・佃などを含めた東地区で22.2%、旭町・大野・浪館・安田などを含めた南地区で19.8%であった。民間関係の照会目的については、売買目的を主体とした物件調査が578件(58.9%)と最も多く、次いで建設計画が288件(29.3%)であったが、物件調査については、基本的に土地売買成立後に建築計画に移行するため、実際は建築計画が大半を占めるものと考えられる。

照会に対しては、埋蔵文化財包蔵地台帳や遺跡地図を基に回答している。当課からの回答は、「遺跡に該当している」(表中回答Aと表記)、「遺跡に隣接している」(表中回答Bと表記)、「遺跡に該当していない」(表中回答Cと表記)の三種である。このうち、AまたはBと回答した事例は、民間では255件(26%)、府内関係で55件(14%)であり、これらのうち、17件について試掘・確

認調査等を実施した（第Ⅲ章）。

昨年度の報告以降、12月までの文化財保護法第93条および第94条に基づく届出・通知は、119件（55遺跡）であった（第3表）。第93条に係る届出（個人・民間事業）は91件、第94条に係る通知（公共事業）は28件であり、昨年度の同じ時期（第93条52件、第94条26件）と比べて、第93条に係る届出件数が大幅に増加し、第94条に係る通知件数が微増となつた。

第1表 令和3年12月～令和4年11月 居間からの事業提命一覧

第2表 令和3年12月～令和4年11月 市町村からの事業照会一覧

No.	年月日	所轄者	地區	計画(所)地	事業内容・開拓目的	回答	通知狀
1	60.12.5	川越農	青森	造成道3丁目	土地整理等施作	C	
2	61.12.9	若吉奈良山會社	青森	三丁字牛山	土地整理等施作	C	
3	60.12.13	浜田製糖新潟支社	福岡	同門町附近	学生寮建設工事	C	

第3表 令和4年1月～12月 土木工事等に係る届出・通知一覧

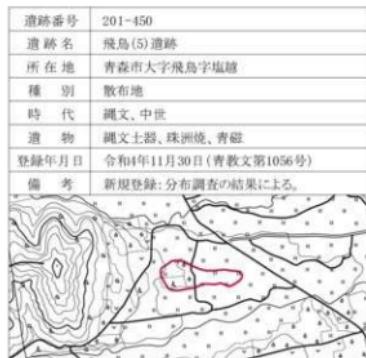
No.	調査名	地区	開発会社	確認・提出者	通知・提出日	通知回数	工事番号	工事状況
97	④野瀬町 香林	香林	アーバン開発 管理組合	香林町	2022.10.26	2022.10.27	第962号	工事会合
98	高附（1） 高附	香林	アーバン開発 管理組合	香林町	2022.10.26	2022.10.24	第962号	確認工事
99	高附（1） 高附	香林	アーバン開発 管理組合	香林町	2022.10.26	2022.10.31	第962号	確認工事
100	高附（1） 高附	香林	アーバン開発 管理組合	香林町	2022.10.26	2022.10.31	第962号	確認工事
101	高附高附 高附	香林	アーバン開発 管理組合	香林町	2022.11.2	2022.11.2	第962号	確認工事
102	安田町野 野	香林	アーバン開発 管理組合	香林町	2022.11.4	2022.11.8	第962号	確認工事
103	④高附 高附	香林	アーバン開発 管理組合	香林町	2022.11.7	2022.11.8	第962号	工事会合
104	④高附 高附	香林	アーバン開發 管理組合	香林町	2022.11.8	2022.11.9	第962号	確認工事
105	解見（1） 高附	解見	アーバン開發 管理組合	解見町	2022.11.9	2022.11.10	第962号	工事会合
106	高石（城 （1）城	香林	アーバン開發 管理組合	香林町	2022.11.9	2022.11.10	第962号	工事会合
107	高石（城 （1）城	香林	アーバン開發 管理組合	香林町	2022.11.10	2022.11.10	第962号	工事会合
108	解見解見 高附	香林	アーバン開發 管理組合	香林町	2022.11.10	2022.11.14	第962号	工事会合
109	高石高石 高附	香林	アーバン開發 管理組合	香林町	2022.11.18	2022.11.25	第962号	工事会合
110	安田町野 野	香林	アーバン開發 管理組合	香林町	2022.11.19	2022.11.25	第962号	工事会合
111	解見（1） 高附	解見	アーバン開發 管理組合	解見町	2022.11.25	2022.11.29	第962号	工事会合
112	玉森高石 （1）高附	香林	アーバン開發 管理組合	香林町	2022.12.6	2022.12.7	第962号	工事会合
113	高石（城 （1）城	香林	アーバン開發 管理組合	香林町	2022.12.5	2022.12.7	第962号	工事会合
114	解見解見 高附	香林	アーバン開發 管理組合	香林町	2022.12.8	2022.12.14	第962号	工事会合
115	解見解見 高附	香林	アーバン開發 管理組合	香林町	2022.12.16	2022.12.16	第962号	工事会合
116	大矢山（1） 高附	香林	アーバン開發 管理組合	香林町	2022.12.16	2022.12.16	第962号	工事会合
117	高附（1） 高附	香林	アーバン開發 管理組合	香林町	2022.12.21	2022.12.22	第962号	確認工事
118	④北浦町 香林	北浦町	アーバン開發 管理組合	北浦町	2022.12.25	2022.12.25	第1146号	確認工事
119	④北浦町 香林	北浦町	アーバン開發 管理組合	北浦町	2022.12.25	2022.12.27	第1146号	工事会合

第Ⅱ章 埋蔵文化財包蔵地の登録等

青森市内における周知の埋蔵文化財包蔵地（以下、「遺跡」）は、令和5年1月31日現在で、昨年度より4遺跡増加し、計435遺跡（青森地区331遺跡、浪岡地区104遺跡）となった。今年度の新規登録、範囲変更遺跡の詳細は、下記のとおりである。

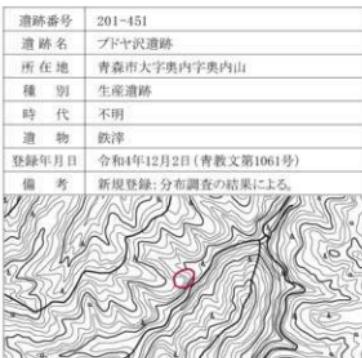
第1節 新規登録・範囲変更遺跡

新規登録遺跡は、飛鳥（5）遺跡、ブドウ沢遺跡、ドウヤ沢遺跡である。いずれも分布調査の成果によるものである。

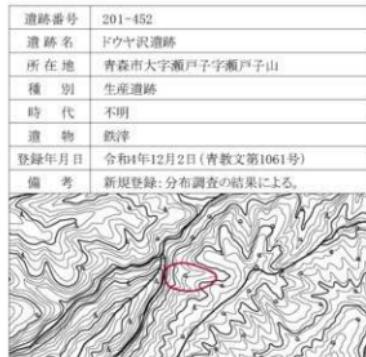


第1図 飛鳥(5)遺跡範囲 (S = 1/25,000)

範囲変更遺跡は、葛野(1)遺跡、露草遺跡、雲谷山吹(1)遺跡、内真部(1)遺跡である。葛野(1)遺跡、雲谷山吹(1)遺跡については当委員会による試掘調査の成果によるものであり、露草遺跡については隣接地の現地確認、内真部(1)遺跡については分布調査の成果によるものである。



第2図 ブドウ沢遺跡範囲 (S = 1/25,000)



第3図 ドウヤ沢遺跡範囲 (S = 1/25,000)



第4図 葛野(1)遺跡範囲 (S = 1/25,000)

遺跡番号	201-061
遺跡名	露草遺跡
所在地	青森市八重田3丁目
種別	散布地
時代	平安
遺物	土師器
登録年月日	令和4年6月16日(青教文第349号)
備考	範囲変更: 現地確認の結果による。


第5図 露草遺跡範囲 ($S = 1/25,000$)第6図 内真部(1)遺跡範囲 ($S = 1/25,000$)

遺跡番号	201-199
遺跡名	雲谷山吹(1)遺跡
所在地	青森市大字雲谷字山吹
種別	散布地
時代	縄文(後)
遺物	縄文土器
登録年月日	令和4年12月2日(青教文第1061号)
備考	範囲変更: 確認調査の結果による。


第7図 雲谷山吹(1)遺跡範囲 ($S = 1/25,000$)

第Ⅲ章 分布調査及び試掘・確認調査

第1節 分布調査

今年度は、市北西部の内真部城館群を中心に、飛鳥地区、内真部・奥内・瀬戸子地区の分布調査を実施した。飛鳥地区、内真部・奥内・瀬戸子地区的調査によって、3遺跡の新規登録および1遺跡の範囲変更を行った（第Ⅱ章）。

1. 飛鳥地区

調査日：令和4年7月28日

調査概要：市北西部を中心に城館の踏査を実施している市民グループより、飛鳥地区において土壘とみられる高まりが存在する場所があり、当該土地所有者が珠洲焼や青磁を採集（第9図）したという情報を受け、分布調査を実施した。当該地は、津軽山地東端の丘陵地から平野部に張り出す微高地に相当し、畑と林となっている。調査の結果、畑では繩文時代中期とみられる土器片や石器を確認し、隣接する林では南側の水路に沿って東西に連なる土壘状の高まりを確認した。新たに中世の遺物は確認できなかったものの、繩文土器や土壘状の高まりを確認したことから、飛鳥（5）遺跡として新規登録した。

2. 内真部城館群

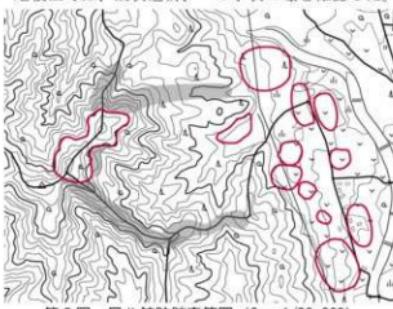
市北西部の丘陵地は、内真部館遺跡や尻八館跡などの中世城館が存在する地域であり、近年、地元を中心とする市民グループの踏査によって、周知の埋蔵文化財包蔵地（以下、周知の遺跡）の範囲外から城館遺構の広がりや、別地点では新たな城館遺構も確認されている（これらを内真部城館群と総称）。

当委員会では、周知の遺跡範囲外において確認されている城館の範囲や遺構の広がりを把握するため、昨年度に引き続き分布調査を実施した。なお、調査については、市民グループの案内に加え、中世考古学および津軽地域の城館に精通する柳原滋高氏、青森県教育庁文化財保護課埋蔵文化財グループ職員の指導を受けながら実施した。

①尻八館跡付近、仮称 瀬戸子館、瀬戸子館方形区画

調査日：令和4年8月24日

調査概要：尻八館跡（青森県埋蔵文化財包蔵地台帳番号201026）の西曲輪および東曲輪（青森市2005）に連なる周知の遺跡範囲外の尾根を調査した。尻八館跡が存在する丘陵の東麓にあたる山城溜池から、西曲輪に向かう尾根上では、段状遺構や断続的にみられる壕底道を確認した。また、西曲輪東側の尾根上では、段状遺構、コの字状の壕を確認した。



第9図・写真1 飛鳥（5）遺跡探集遺物

東曲輪に連なる尾根では、土塁を確認した。

また、瀬戸子地区では、周知の遺跡範囲外にあたる奥内川南岸の丘陵地において、市民グループが発見した城館（仮称 瀬戸子館）の調査を行った。丘陵北東側の先端部には、頂部に広い平坦面が存在し、その北側から埋まりきらない竪穴建物跡とみられる浅い窪みを複数確認し、さらに、南側では環状に巡る浅い壕と切岸によって形成された環境を確認した。また、瀬戸子館の丘陵東麓の段丘上からは、土塁と塹によって囲まれた方形区画を確認した。

②仮称 瀬戸子館

調査日：令和4年9月2日

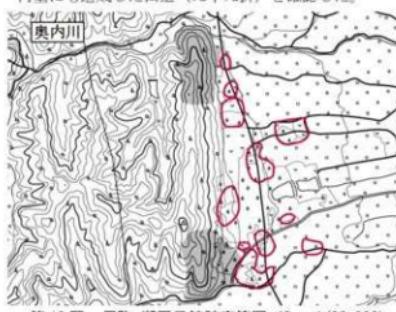
調査概要：8月24日に踏査した仮称 瀬戸子館が存在する丘陵について、北～東側斜面の補完的な分布調査を行った。奥内川に向かって北側に張り出す細長い舌状丘陵の北東～東側の斜面において、段状遺構や小平場を確認した。

③仮称 内真部山城、大阪山館

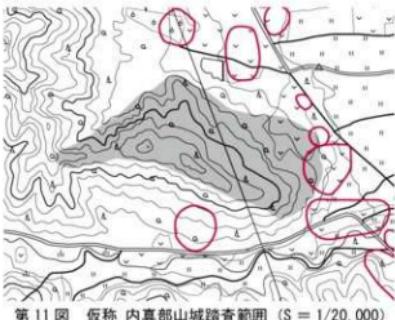
調査日：令和4年10月6日

調査概要：内真部館遺跡（青森県埋蔵文化財公蔵地台帳番号201159）西側において「内真部山城跡」と仮称（青森市 2005）されている丘陵地を踏査した。南東側の緩斜面から丘陵の尾根に向かう地点に虎口、北西側に連なる尾根から塹底道や土橋、北東から入り込む沢に面した斜面から小平場を確認した。

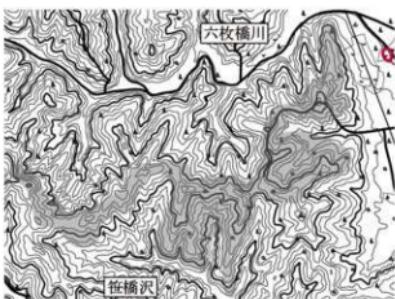
また、六枚橋地区の大坂山（標高143m）周辺において、市民グループが発見した城館（仮称 大阪山館）の調査を行った。内真部山城方面から北西側に尾根を進んだ地点において、北東側に張り出す舌状丘陵の東側斜面に小平場、その西側の尾根上には曲輪とみられる平坦面があり、北東側の沢に面した斜面から小平場を確認した。その地点から西側に尾根を進んだ場所には、土橋を挟んで二重に構築された塹底道を確認した。また、南側を流れる内真部川支流の佐橋沢に張り出す丘陵の突端部には、段状に何重にも造成した山道（九十九折）を確認した。



第10図 仮称 瀬戸子館踏査範囲 ($S = 1/30,000$)



第11図 仮称 内真部山城踏査範囲 ($S = 1/20,000$)



第12図 仮称 大阪山館踏査範囲 ($S = 1/30,000$)



第13図 飛鳥山館跡、方形区画踏査範囲 ($S = 1/20,000$)

④仮称 大阪山館

調査日：令和4年11月7日

調査概要：10月6日に到達した地点から西側および北東側に延びる尾根について調査を実施した。西側については、尾根上に1.5km以上にわたって断続的に塹底道を確認し、六枚橋川方向から入り込む沢に面した塹底道の西端に近い地点では樹形を呈

する塙を確認した。また、南側の内真部川支流の笹橋沢に尾根が連続して張り出す箇所においては、先端部の斜面から小平場を確認し、南側の沢からの侵入に対する防衛を意識した構造となっていることを確認した。北東側の尾根では、頂部から曲輪とみられる平坦面を確認した。曲輪から北東側に続く尾根の先は、平坦部が続き、その先に3条の塙底道を確認した。東側から入り込む沢地形に面した斜面では、小平場群を確認した。

⑤仮称 大阪山館、内真部山城

調査日：令和4年11月16日

調査概要：仮称 大阪山館について、11月7日に北東側の尾根で確認した北曲輪北側において、六枚橋川方面に張り出す丘陵を調査した。この丘陵には、北側の六枚橋川方向から2条の沢地形が入り込んでいるが、いずれの沢に対する斜面にも複数の小平場の存在を確認した。特に東側の沢の西側斜面に小平場が顕著であり、北側の沢からの侵入に対する防衛を意識した構造を確認した。また、陸奥湾を臨む東側の斜面にも複数の小平場や段状遺構を確認し、東側からの侵入にも備えた構造となっている。この丘陵頂部からは、尾根の頂部を平坦に整形したとみられる平場のほか、部分的に塙底道を確認した。

また、内真部山城の北東側斜面では、深く入り込んだ沢や急峻な地形を生かした防衛構造を確認し、南東側の斜面から敷設箇所の小平場を確認した。

⑥飛鳥山館跡付近、仮称 飛鳥山方形区画

調査日：令和4年11月20日

調査概要：飛鳥地区では、飛鳥山館跡（201-204）の範囲外において、市民グループが発見した城館を調査した。瀬戸子川に張り出す北東側の丘陵においては、切岸によって形成された曲輪とその北東側に段状遺構を確認した。また、飛鳥山頂部付近の遺跡範囲内から、環塙を確認した。また、南側の飛鳥沢から入り込む沢においては、沢を堰き止めるような土壠、沢に面した東側の斜面から、切通しを伴う塙底道、その先の丘陵において平場を確認した。

また、飛鳥山館跡東麓において、市民グループが新たに発見した方形区画を調査した。丘陵と平野部

の境界において、長方形に土壠が巡る状況を確認した。仮称瀬戸子館においては、瀬戸子八幡宮北側の東向き斜面において虎口、丘陵上からはテラス状の平場を確認した。

今年度実施した内真部城館群の分布調査によって、未登録地における城館遺構の広がりを確認した。調査は、来年度以降も行う予定である。

3. 内真部・奥内・瀬戸子地区

調査日：令和4年11月13日

調査概要：内真部城館群の踏査を実施している市民グループより、内真部（1）遺跡範囲外で土器を採集したという情報を受け、分布調査を実施した。当該地は、内真部（1）遺跡西側の山林にあたり、数年前に行われたとみられる森林伐採時の運搬路造成によって掘削を受けており、縄文土器、土師器、鉄滓のほか、地山が露出した地点から焼土範囲を確認したため、範囲変更した。

奥内地区においては、奥内川上流に「ブドヤ沢」、瀬戸子地区においては瀬戸子川上流に「ドウヤ沢」という名称の沢が存在し、「ドヤ」および「ドウヤ」の名称については、江戸時代に製鉄や鋳造が行われた場所を指す「銅屋」が由来と考えられ、未確認の製鉄遺跡が存在する可能性が高いことから、周辺の分布調査を実施した。ブドヤ沢は、奥内川支流の母沢を500m進んだ北側の小さな沢に相当する。沢に向かって張り出す丘状の地形の先端部が森林伐採時の運搬路造成によって削られており、その断面に大量の木炭や鉄滓が混入する状況を確認したことから、新規登録した。

ドウヤ沢は、瀬戸子川支流の双又沢を50m進んだ東側の小さな沢に相当する。沢からは、製錬炉の炉壁片や鉄滓が確認でき、沢の南側の斜面において大量の鉄滓が広範囲に散布する状況を確認したことから、新規登録した。

〔引用文献〕

青森市 2005 『新青森市史 資料編2 古代・中世』



写真2 飛鳥(5) 遺跡①



写真3 飜鳥(5) 遺跡②



写真4 飜鳥(5) 遺跡③



写真 5 尻八館跡①



写真 6 尻八館跡②



写真 7 仮称 濑戸子館①



写真 8 仮称 濑戸子館②



写真 9 仮称 内真部山城①



写真 10 仮称 大阪山館①



写真 11 仮称 大阪山館②



写真 12 仮称 大阪山館③

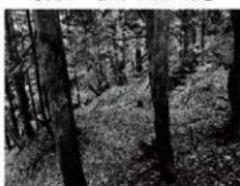


写真 13 仮称 大阪山館④



写真 14 仮称 大阪山館⑤



写真 15 仮称 大阪山館⑥



写真 16 仮称 内真部山城②



写真 17 仮称 内真部山城③



写真 18 仮称 内真部山城④



写真 19 飛鳥山館跡①



写真 20 飛鳥山館跡②



写真 21 仮称 飛鳥山館方形区画



写真 22 仮称 濑戸子館①



写真 23 仮称 濑戸子館②



写真 24 内真部(1) 遺跡①



写真 25 内真部(1) 遺跡②



写真 26 ブドヤ沢遺跡①



写真 27 ブドヤ沢遺跡②



写真 28 ブドヤ沢遺跡①



写真 29 ブドヤ沢遺跡②

第2節 試掘・確認調査

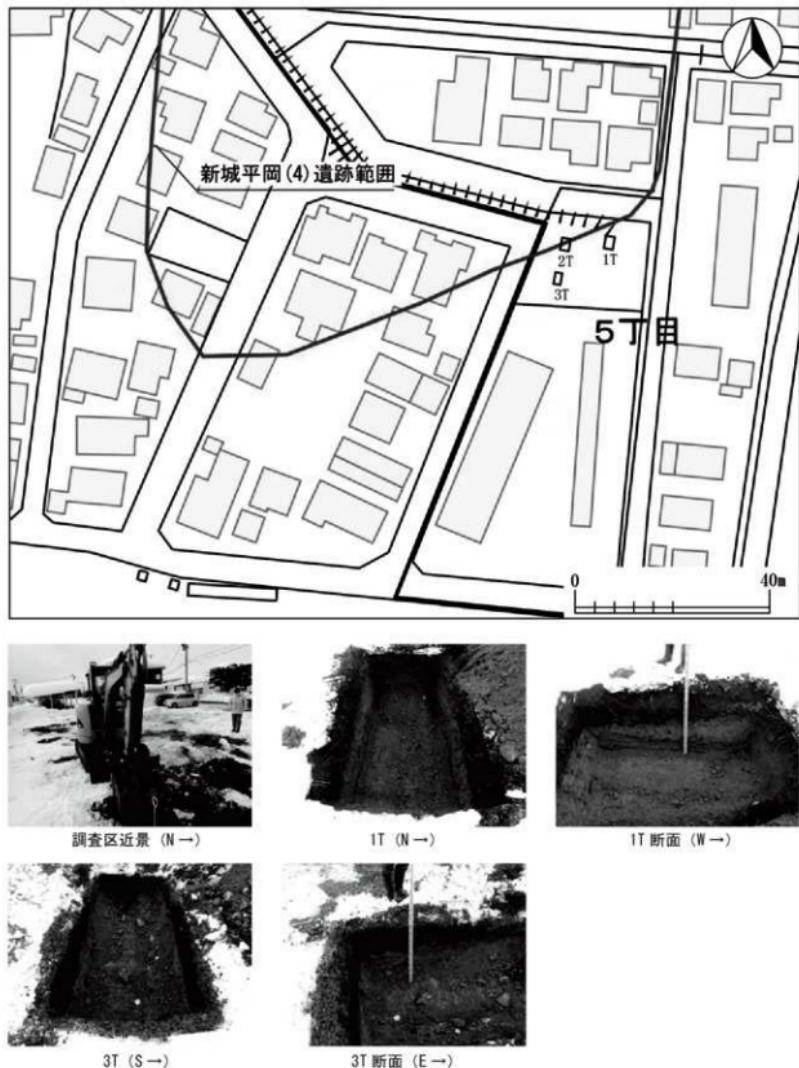
昨年度報告後に実施した2件（新城平岡（4）遺跡、安田近野（2）遺跡）を含め、19件の調査結果である。三内沢部（3）遺跡、沢田遺跡については、複数地点の調査を実施している。調査の概要是、以下のとおりである。

1	遺 跡 名 新域平岡（4）遺跡	図 版 番 号 第14図
調 査 地	大字新域字平岡地内	遺跡台帳番号 201-074
調 査 原 因	住宅建築	調 査 面 積 11 m ²
調 査 期 間	令和4年2月15日	
調 査 方 法	トレンチ3箇所設定。重機・人力による掘削。	
調 査 概 要	区画整理により造成されており、盛土が厚く堆積する状況を確認。盛土の厚さは、2m以上と推定。（盛土下位の土層は未確認）。遺構・遺物は確認できなかった。1T:130（盛土130）cm、2T:120（盛土120）cm、3T:130（盛土130）cm。	
調査後措置	慎重工事により施工。	
2	遺 跡 名 安田近野（2）遺跡	図 版 番 号 第15図
調 査 地	大字安田字近野地内	遺跡台帳番号 201-309
調 査 原 因	住宅建築	調 査 面 積 15 m ²
調 査 期 間	令和4年3月3日	
調 査 方 法	トレンチ4箇所設定。重機・人力による掘削。	
調 査 概 要	2Tにおいて部分的な擾乱が認められたが、概ねプライマリーな堆積層が認められ、3T・4Tから縄文時代及び平安時代の遺構・遺物を確認。1T:60 cm・遺構遺物無、2T:60 cm・遺構遺物無、3T:50 cm・竪穴建物跡1・縄文土器、4T:50 cm・ピット2・土師器。	
調査後措置	住宅の基礎深度が遺構面まで達しない計画であったが、工事立会により施工。	
3	遺 跡 名 女鹿沢野尻遺跡	図 版 番 号 第16図
調 査 地	浪岡大字女鹿沢字野尻地内	遺跡台帳番号 201-435
調 査 原 因	住宅建築	調 査 面 積 9 m ²
調 査 期 間	令和4年4月8日	
調 査 方 法	トレンチ4箇所設定。重機・人力による掘削。	
調 査 概 要	以前の宅地造成により削平された状況を確認。地表面直下が地山ローム層となっており、遺構・遺物は確認できなかった。1T:10 cm、2T:5 cm、3T:10 cm、4T:5 cm。	
調査後措置	慎重工事により施工。	
4	遺 跡 名 栄山（1）遺跡	図 版 番 号 第17図
調 査 地	大字細越字栄山地内	遺跡台帳番号 201-211
調 査 原 因	住宅建築	調 査 面 積 8 m ²
調 査 期 間	令和4年4月28日	
調 査 方 法	トレンチ2箇所設定。重機・人力による掘削。	
調 査 概 要	地表面下70～100 cmの深さまで盛土が認められたが、その下位からプライマリーな堆積層を確認し、2Tより時期不明の遺構を確認した。1T:160（盛土100）cm・遺構遺物無、2T:90（盛土70）cm・ピット2・遺物無。	
調査後措置	住宅の基礎深度が盛土内に収まる計画であったため、慎重工事により施工。	
5	遺 跡 名 後潟（1）遺跡	図 版 番 号 第18図
調 査 地	大字四戸橋字破部地内	遺跡台帳番号 201-031
調 査 原 因	農業用倉庫建築	調 査 面 積 29 m ²
調 査 期 間	令和4年5月13日	
調 査 方 法	対象地内に4箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。	
調 査 概 要	地表面下80～160 cmの盛土下位から黒色土や砂層を確認したが、遺構・遺物は確認できなかった。1T:140（盛土80）cm、2T:160（盛土100）cm、3T:170（盛土120）cm、4T:220（盛土160）cm。	
調査後措置	盛土内に基礎深度が収まる計画であったため、慎重工事により施工。	

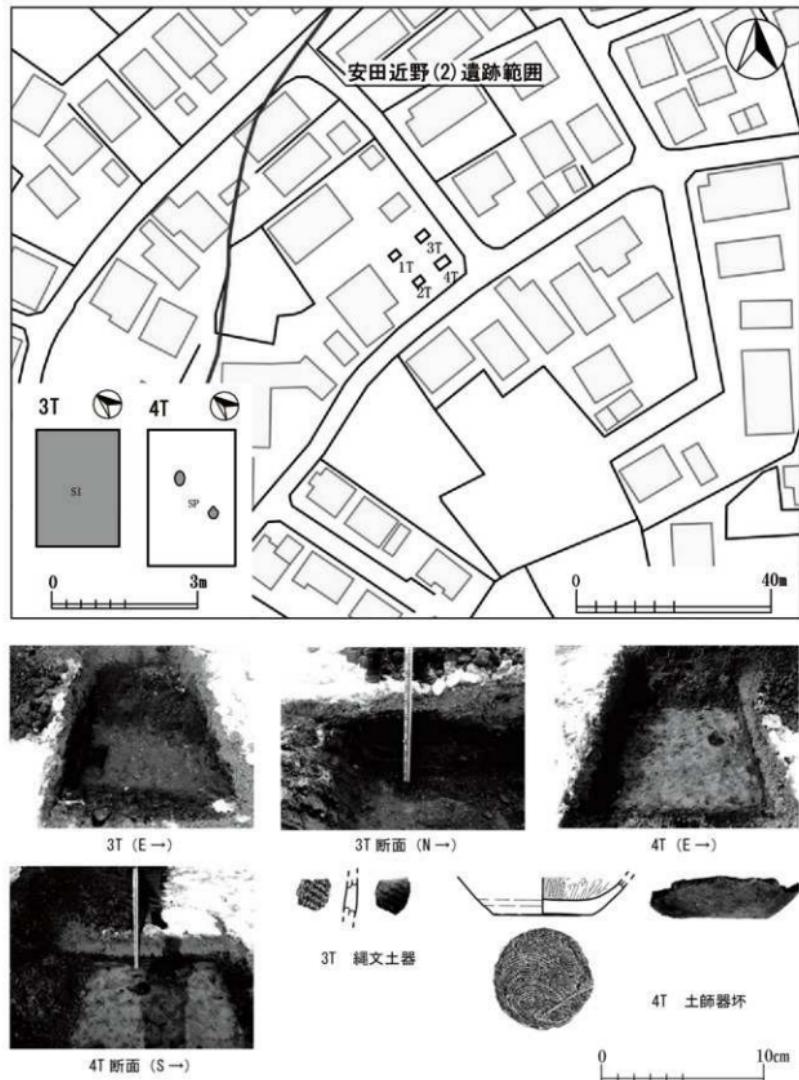
6	遺 跡 名	葛野 (1) 遺跡	図 版 番 号	第 19・20 図
	調 査 地	大字大別内宇葛野地内	遺跡台帳番号	201-218
	調 査 原 因	切土造成工事	調 査 面 積	116 m ²
	調 査 期 間	令和4年5月18・19日		
	調 査 方 法	対象地内に17箇所のトレーナーを設定。重機・人力による掘削。		
	調 査 概 要	概ねプライマリーな堆積層が認められ、遺跡内の5~11Tのほか、遺跡範囲外に設定した1~3、14・15Tからも縄文時代の遺構・遺物を確認。IT: 70 cm・竪穴建物跡1・縄文土器、2T: 180 cm・土坑1・縄文土器、3T: 150 cm・土坑1・縄文土器、4T: 90 cm・遺構無・縄文土器、5T: 70 cm・竪穴建物跡1・縄文土器、6T: 70 cm・竪穴建物跡1・縄文土器・石器、7T: 50 cm・竪穴建物跡1・縄文土器・石器・土製品、8T: 70 cm・竪穴建物跡1・土坑1・ピット4、9T: 50 cm・竪穴建物跡2・縄文土器、10T: 60 cm・土坑1・縄文土器、11T: 70 cm・竪穴建物跡1・縄文土器、12T: 80 cm・遺構遺物無、13T: 60 cm・遺構遺物無、14T: 50 cm・土坑1・遺物無、15T: 50 cm・ピット1・遺物無、16T: 60 cm・遺構遺物無、17T: 70 cm・遺構遺物無。		
	調査後措置	調査結果を基に遺跡範囲を拡張。掘削等を伴う工事については、事前協議の上、工事範囲内の発掘調査が必要となる旨伝達。		
7	遺 跡 名	三内沢部 (3) 遺跡①	図 版 番 号	第 21 図
	調 査 地	大字三内沢部地内	遺跡台帳番号	201-239
	調 査 原 因	住宅建築・駐車場整備	調 査 面 積	67 m ²
	調 査 期 間	令和4年5月30日		
	調 査 方 法	対象地内に10箇所のトレーナーを設定。重機・人力による掘削。		
	調 査 概 要	概ねプライマリーな堆積層が認められたが、遺構・遺物は確認できなかった。IT: 30 cm、2T: 30 cm、3T: 20 cm、4T: 45 cm、5T: 40 cm、6T: 40 cm、7T: 70 cm、8T: 30 cm、9T: 50 cm、10T: 70 cm。		
	調査後措置	工事立会により施工。		
8	遺 跡 名	雲谷山吹 (1) 遺跡	図 版 番 号	第 22・23 図
	調 査 地	大字雲谷山吹吹地内	遺跡台帳番号	201-199
	調 査 原 因	太陽光発電所建設	調 査 面 積	414 m ²
	調 査 期 間	令和4年6月20~22日		
	調 査 方 法	対象地内に25箇所のトレーナーを設定。重機・人力による掘削。		
	調 査 概 要	東端部の推疊を除いて、概ねプライマリーな堆積層が認められ、遺跡南西端や、その付近の遺跡範囲外に設定した15、20、21、23、25Tより縄文時代の遺構・遺物を確認。IT: 60 cm・遺構遺物無、2T: 80 cm・遺構遺物無、3T: 80 cm・遺構遺物無、4T: 50 cm・遺構遺物無、5T: 30 cm・遺構遺物無、6T: 60 cm・遺構遺物無、7T: 45 cm・遺構遺物無、8T: 60 cm・遺構遺物無、9T: 50 cm・遺構遺物無、10T: 60 cm・遺構遺物無、11T: 40 cm・遺構遺物無、12T: 60 cm・遺構遺物無、13T: 80 cm・遺構遺物無、14T: 40 cm・遺構遺物無、15T: 50 cm・ピット2・遺物無、16T: 45 cm・遺構遺物無、17T: 45 cm・遺構遺物無、18T: 50 cm・遺構遺物無、19T: 45 cm・遺構遺物無、20T: 30 cm・遺構無・縄文土器、21T: 60 cm・ピット1・遺物無、22T: 60 cm・遺構遺物無、23T: 50 cm・土坑1・ピット2・縄文土器、24T: 60 cm・遺構遺物無、25T: 50 cm・土坑1・縄文土器		
	調査後措置	調査結果を基に遺跡範囲を拡張。掘削を伴う工事については、遺跡面に達しない工法の検討又は遺構を確認した範囲の発掘調査が必要となる旨伝達。		
9	遺 跡 名	沢田遺跡①	図 版 番 号	第 24 図
	調 査 地	造道3丁目地内	遺跡台帳番号	201-050
	調 査 原 因	住宅建築	調 査 面 積	11 m ²
	調 査 期 間	令和4年7月19日		
	調 査 方 法	対象地内に3箇所のトレーナーを設定。重機・人力による掘削。		
	調 査 概 要	地表面下75~90 cmの盛土下位から、プライマリーな堆積層を確認。遺構は認められなかつたが、盛土下位の黒色土層より土師器を確認。IT: 110 (盛土75) cm・遺構無・土師器、2T: 130 (盛土75) cm・遺構無・土師器、3T: 140 (盛土90) cm・遺構遺物無。		
	調査後措置	住宅の基礎深度が盛土内に収まる計画であったため、慎重工事により施工。		

10	遺跡名	近野遺跡	図版番号	第25図
	調査地	大字安田字近野地内	遺跡台帳番号	201-065
	調査原因	住宅建築	調査面積	18m ²
	調査期間	令和4年7月20日		
	調査方法	対象地内に4箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
	調査概要	地表面下35～120cmの盛土下位から、プライマリーな堆積層を確認。2Tより遺構を確認したが、遺物は確認できなかった。IT：150（盛土80）cm・遺構遺物無、2T：180（盛土120）cm・土坑1・遺物無、3T：120（盛土55）cm・遺構遺物無、4T：90（盛土35）cm・遺構遺物無。		
	調査後措置	基礎深度が盛土内に収まる位置に建築する計画のため、慎重工事により施工。		
11	遺跡名	沢田遺跡②	図版番号	第26図
	調査地	浩道3丁目地内	遺跡台帳番号	201-050
	調査原因	宅地分譲	調査面積	80m ²
	調査期間	令和4年7月21日		
	調査方法	対象地内に7箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
	調査概要	地表面下150～200cmの盛土下位から、プライマリーな堆積層を確認。1・3Tより遺構を確認したが、遺物は確認できなかった。IT：260（盛土190）cm・溝跡1・遺物無、2T：250（盛土200）cm、3T：230（盛土180）cm・溝跡1・遺物無、4T：295（盛土180）cm・遺構遺物無、5T：240（盛土180）cm・遺構遺物無、6T：200（盛土150）cm・遺構遺物無、7T：180（盛土150）cm・遺構遺物無。		
	調査後措置	掘削深度が盛土内に収まる計画のため、慎重工事により施工。		
12	遺跡名	東造道遺跡	図版番号	第27図
	調査地	東造道2丁目地内	遺跡台帳番号	201-447
	調査原因	住宅建築	調査面積	13m ²
	調査期間	令和4年7月28日		
	調査方法	対象地内に4箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
	調査概要	地表面下75～90cmの盛土下位から、プライマリーな堆積層を確認。2Tより時期不明の遺構を確認したが、遺物は確認できなかった。IT：90（盛土75）cm・遺構遺物無、2T：120（盛土90）cm・土坑1・遺物無、3T：105（盛土85）cm・遺構遺物無、4T：85（盛土75）cm・遺構遺物無。		
	調査後措置	基礎深度が盛土内に収まる計画のため、慎重工事により施工。		
13	遺跡名	月見野（5）遺跡	図版番号	第28図
	調査地	大字駄込字月見野地内	遺跡台帳番号	201-264
	調査原因	倉庫建築	調査面積	13m ²
	調査期間	令和4年10月4日		
	調査方法	対象地内に3箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
	調査概要	概ねプライマリーな堆積層を確認。3Tより遺構を確認したが、遺物は確認できなかった。1T：70cm・遺構遺物無、2T：70cm・遺構遺物無、3T：70cm・土坑1・ピット1・遺物無。		
	調査後措置	盛土整地によって基礎深度が盛土内に収まる計画となったため、慎重工事により施工。		
14	遺跡名	新城平岡（3）遺跡	図版番号	第29図
	調査地	大字新城字平岡地内	遺跡台帳番号	201-241
	調査原因	住宅建築	調査面積	9m ²
	調査期間	令和4年10月24日		
	調査方法	対象地内に3箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
	調査概要	宅地造成によって施された盛土が厚く堆積する状況を確認。盛土の厚さは、3m以上と推定される（盛土下位の土層は未確認）。遺構・遺物は確認できなかった。IT：240（盛土240）cm、2T：160（盛土160）cm、3T：140（盛土140）cm。		
	調査後措置	建築にあたっては、事前に文化財保護法に係る届出を提出するよう伝達。		

15	遺 跡 名	内真部地区	図 版 番 号	第30図
	調 査 地	大字内真部字山下地内	遺跡台帳番号	—
	調 査 原 因	電線張替工事	調 査 面 積	135 m ²
	調 査 期 間	令和4年 10月 27・28日		
	調 査 方 法	遺跡範囲外に相当する対象地内に22箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
	調 査 概 要	以前の鉄塔工事に伴う擾乱が認められた14～17T周辺を除いて、概ねプライマリーな堆積層を確認したが、遺構・遺物は確認できなかった。IT:60 cm, 2T:80 cm, 3T:100 cm, 4T:90 cm, 5T:90 cm, 6T:100 cm, 7T:70 cm, 8T:30 cm, 9T:80 cm, 10T:60 cm, 11T:50 cm, 12T:60 cm, 13T:60 cm, 14T:30 cm, 15T:70 cm, 16T:70 cm, 17T:60 cm, 18T:80 cm, 19T:70 cm, 20T:40 cm, 21T:70 cm, 22T:110 cm,		
	調査後措置	施工については、特段支障がない旨伝達。		
16	遺 跡 名	安田(1) 遺跡隣接地	図 版 番 号	第31図
	調 査 地	大字安田字近野地内	遺跡台帳番号	201-015
	調 査 原 因	宅地分譲	調 査 面 積	60 m ²
	調 査 期 間	令和4年 12月 6日		
	調 査 方 法	遺跡南側の隣接地に相当する対象地内に8箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
	調 査 概 要	西へ南側の4～6、8Tでは地山ローム層まで削平された状況を確認。他の地点は、表層の耕作土や盛土の下位から概ねプライマリーな堆積層を確認したが、遺構・遺物は確認できなかった。IT:90 cm, 2T:90 cm, 3T:100 cm, 4T:20 cm, 5T:10 cm, 6T:20 cm, 7T:100 cm, 8T:5 cm,		
	調査後措置	工事立会により施工予定。		
17	遺 跡 名	夏井田(9) 遺跡	図 版 番 号	第32図
	調 査 地	大字飛鳥字塙越地内	遺跡台帳番号	201-112
	調 査 原 因	無線基地局建設	調 査 面 積	11 m ²
	調 査 期 間	令和4年 12月 7日		
	調 査 方 法	対象地内に2箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
	調 査 概 要	周囲の土地に比べて1m程度低く、削平された状況を確認。地山ローム層には削平や擾乱がみられ、地山直上が耕作土となっている状況を確認。遺構は確認できなかったが、ITより土師器を確認。IT:40 cm・遺構無・土師器、2T:40 cm・遺構遺物無。		
	調査後措置	工事立会により施工予定。		
18	遺 跡 名	中道遺跡	図 版 番 号	第33図
	調 査 地	浪岡大字北中野字北高島地内	遺跡台帳番号	201-428
	調 査 原 因	住宅建築	調 査 面 積	12 m ²
	調 査 期 間	令和4年 12月 14日		
	調 査 方 法	対象地内に3箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
	調 査 概 要	地表面下80cmの盛土下位から、プライマリーな堆積層を確認したが、遺構・遺物は確認できなかった。IT:120 (盛土80) cm, 2T:120 (盛土90) cm, 3T:115 (盛土80) cm,		
	調査後措置	工事立会により施工予定。		
19	遺 跡 名	三内沢部(3) 遺跡②	図 版 番 号	第34図
	調 査 地	大字三内字沢部地内	遺跡台帳番号	201-239
	調 査 原 因	住宅建築	調 査 面 積	129 m ²
	調 査 期 間	令和4年 12月 19日		
	調 査 方 法	対象地内に13箇所のトレンチを設定。重機・人力による掘削。		
	調 査 概 要	北側から中央部にかけて削平された状況であったが、概ねプライマリーな堆積層が認められ、東側に設定したトレンチを中心とし縄文時代や平安時代とみられる遺構を確認。遺物は確認できなかった。IT:100 cm, 2T:60 cm, 3T:60 cm, 4T:60 cm・堅穴建物跡1、土坑1、5T:20cm・堅穴建物跡1、6T:20cm, 7T:40 cm, 8T:30 cm・土坑2, 9T:10 cm・土坑1, 10T:25cm, 11T:50 cm・溝跡1, 12T:40cm, 13T:40cm・土坑1。		
	調査後措置	遺構面に掘削が達しない設計のため工事立会の下で施工予定。		



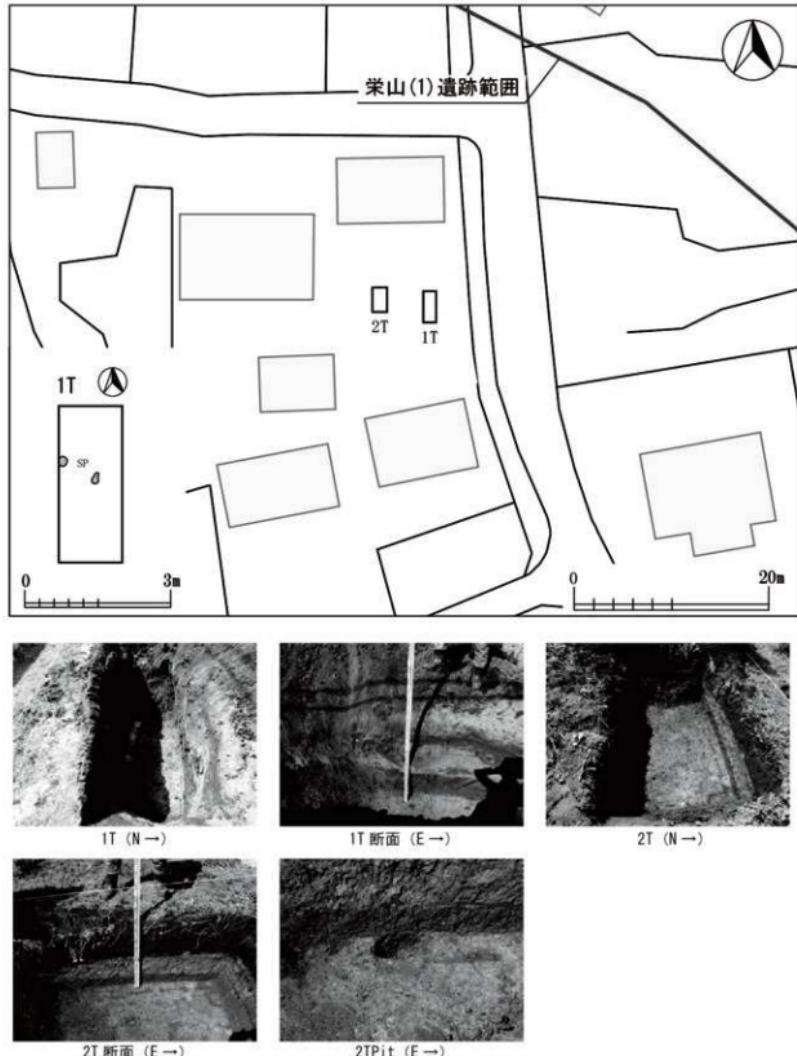
第14図・写真30 新城平岡(4)遺跡



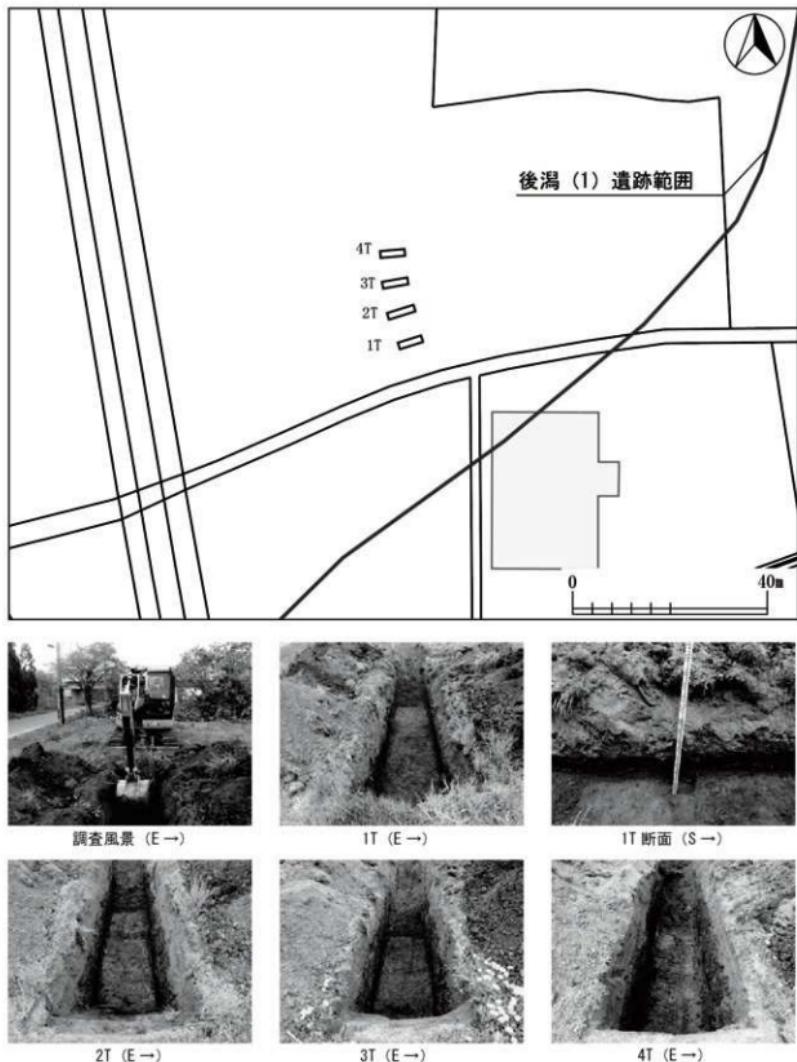
第 15 図・写真 31 安田近野(2) 遺跡



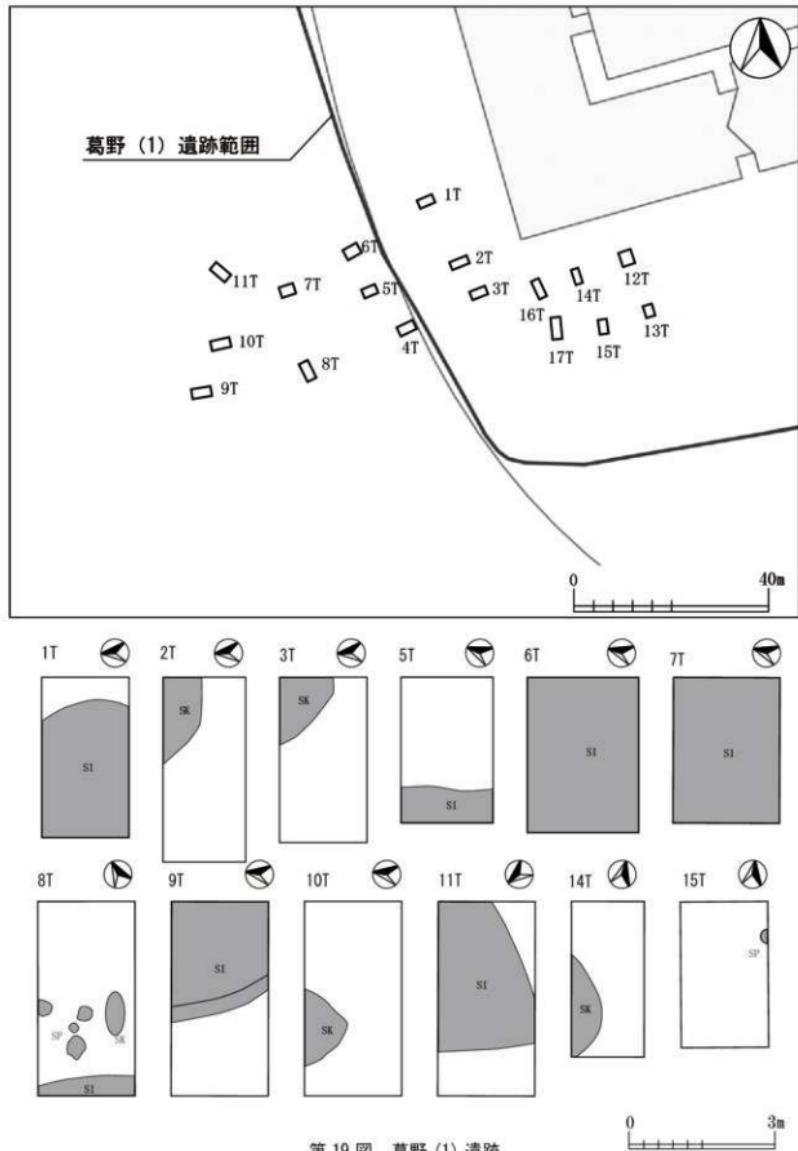
第16図・写真32 女鹿沢野尻遺跡

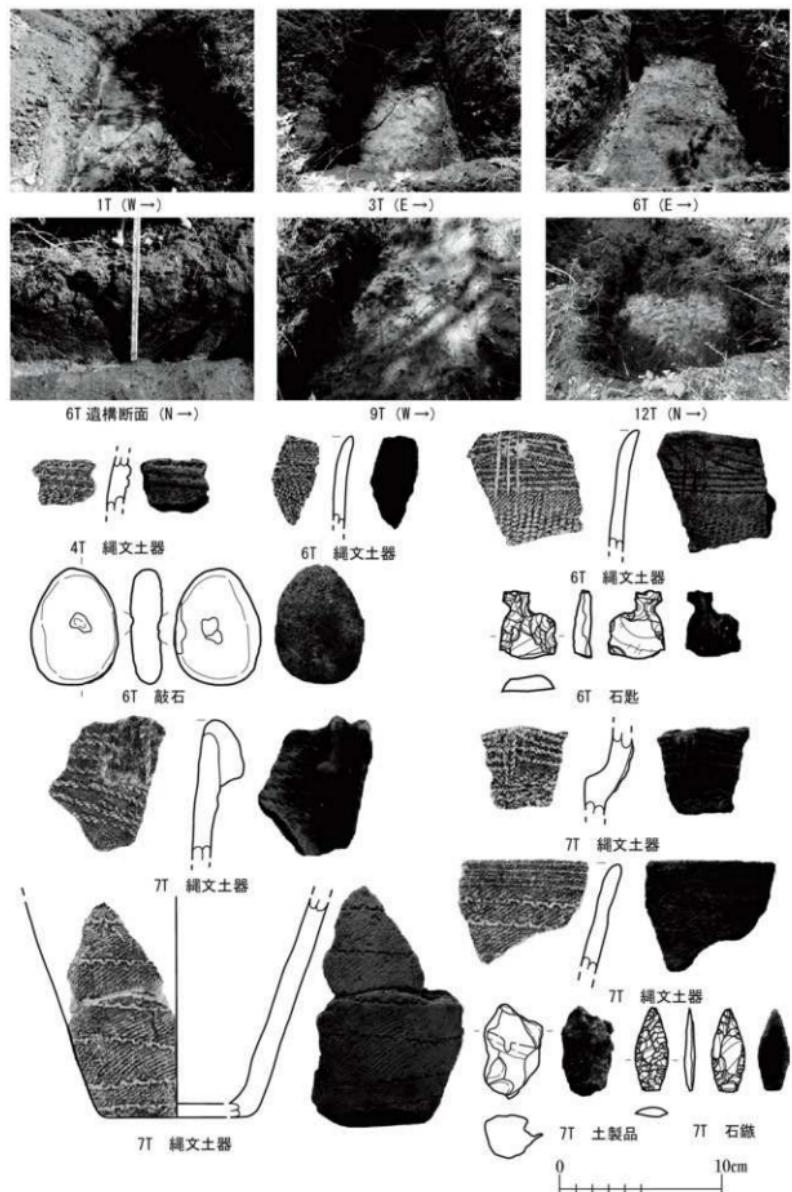


第 17 図・写真 33 栄山 (1) 遺跡



第18図・写真34 後潟(1) 遺跡

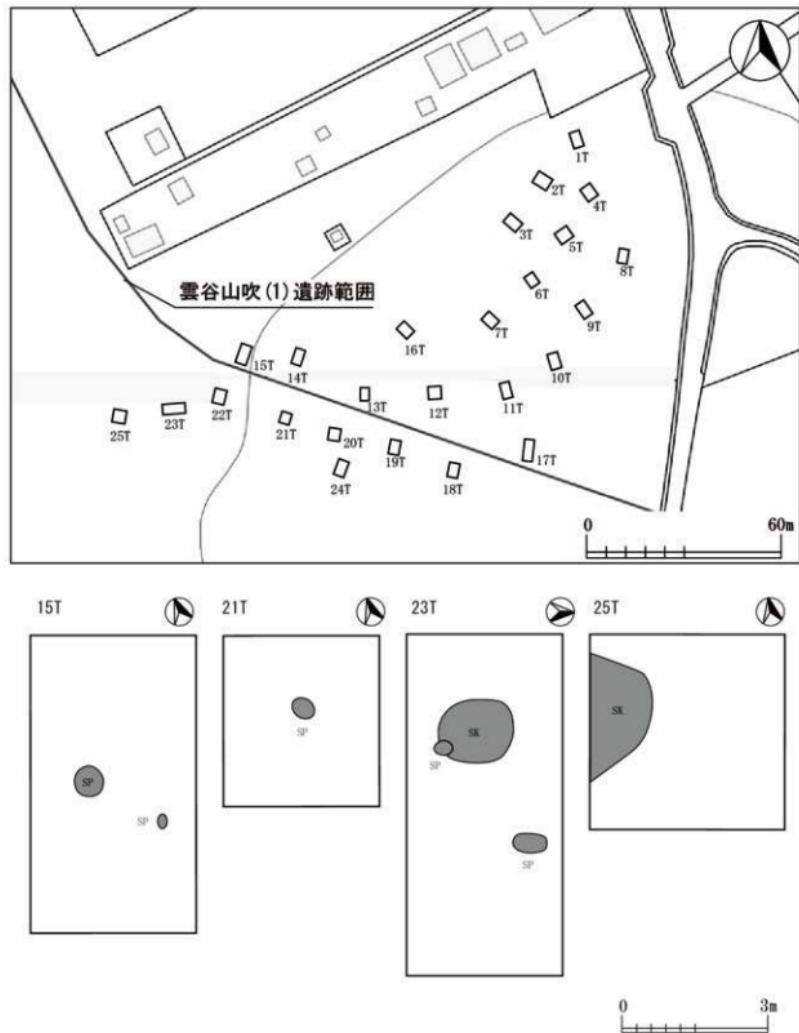




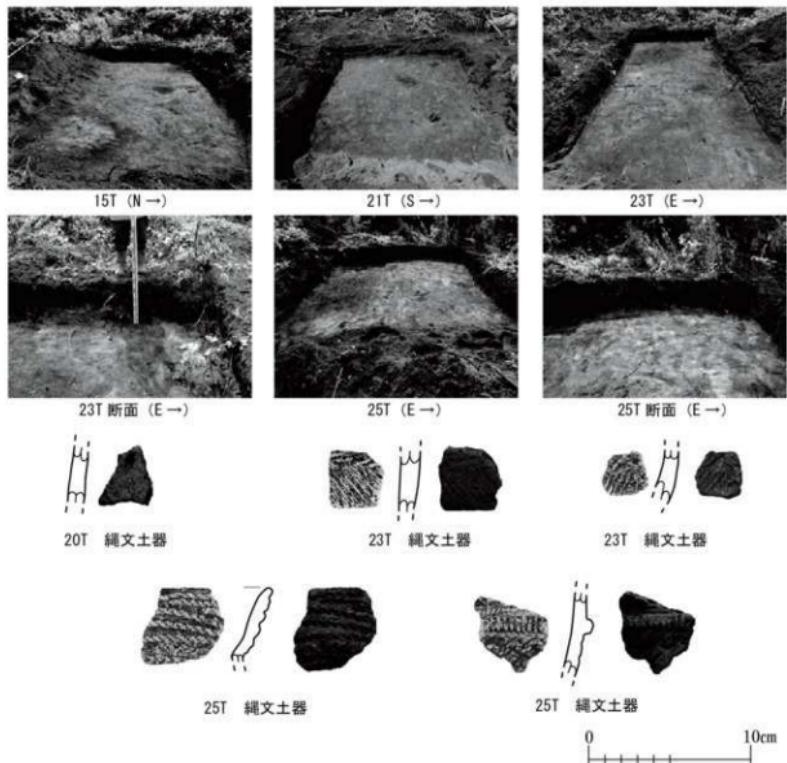
第20図・写真35 葛野(1)遺跡



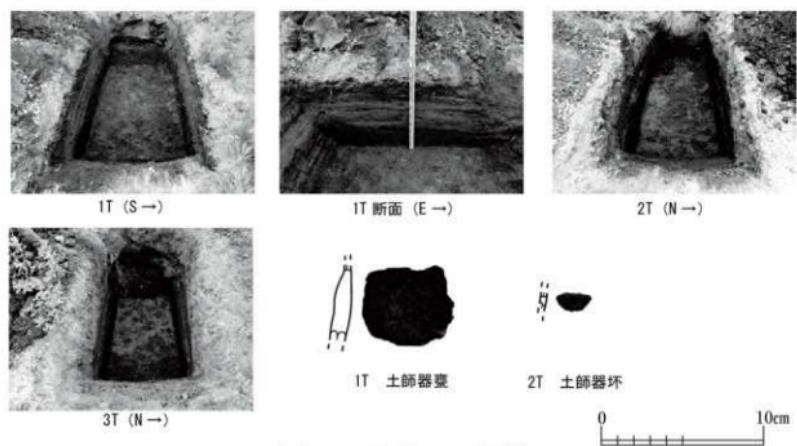
第 21 図・写真 36 三内沢部 (3) 遺跡①



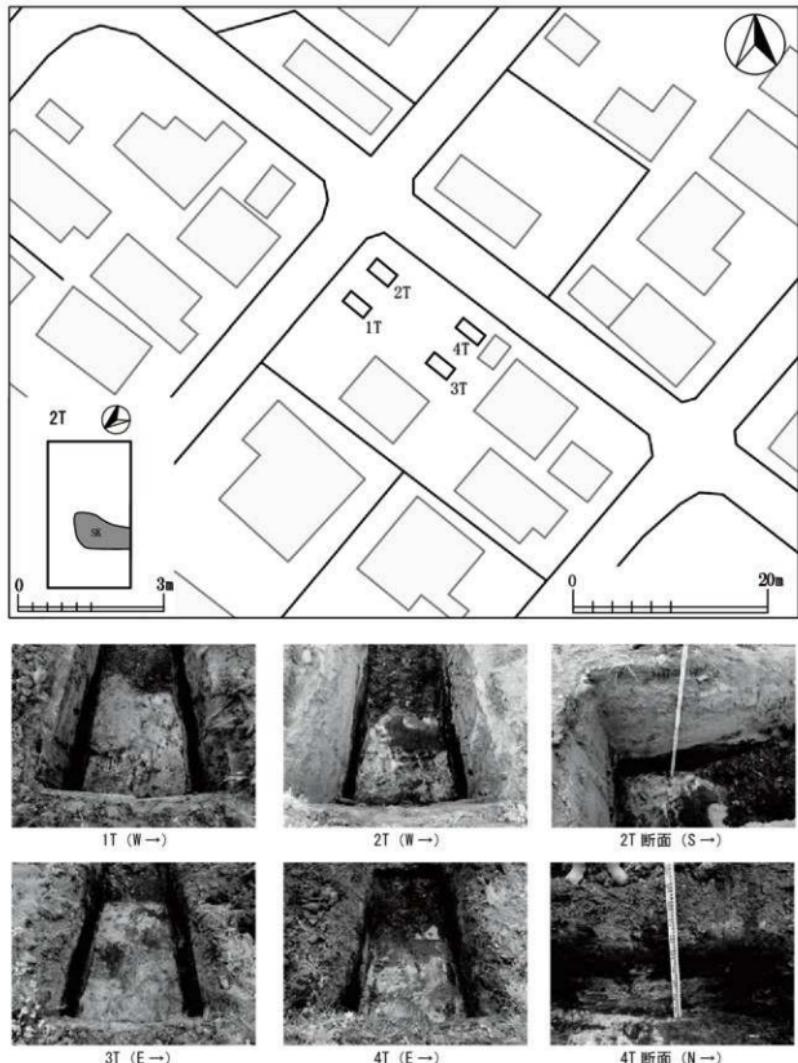
第22図 雲谷山吹(1)遺跡



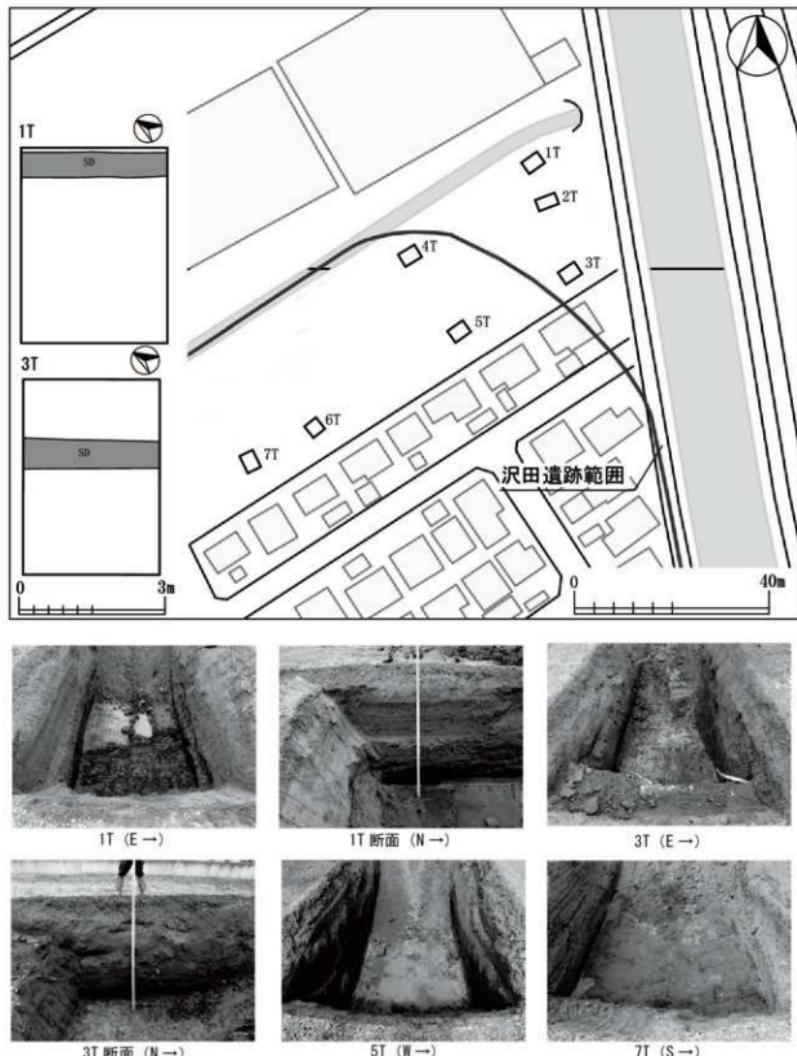
第23図・写真37 雲谷山吹(1)遺跡



第24図・写真38 澤田遺跡①



第 25 図・写真 39 近野遺跡



第 26 図・写真 40 沢田遺跡②



1T (S →)



1T 断面 (E →)



2T (N →)

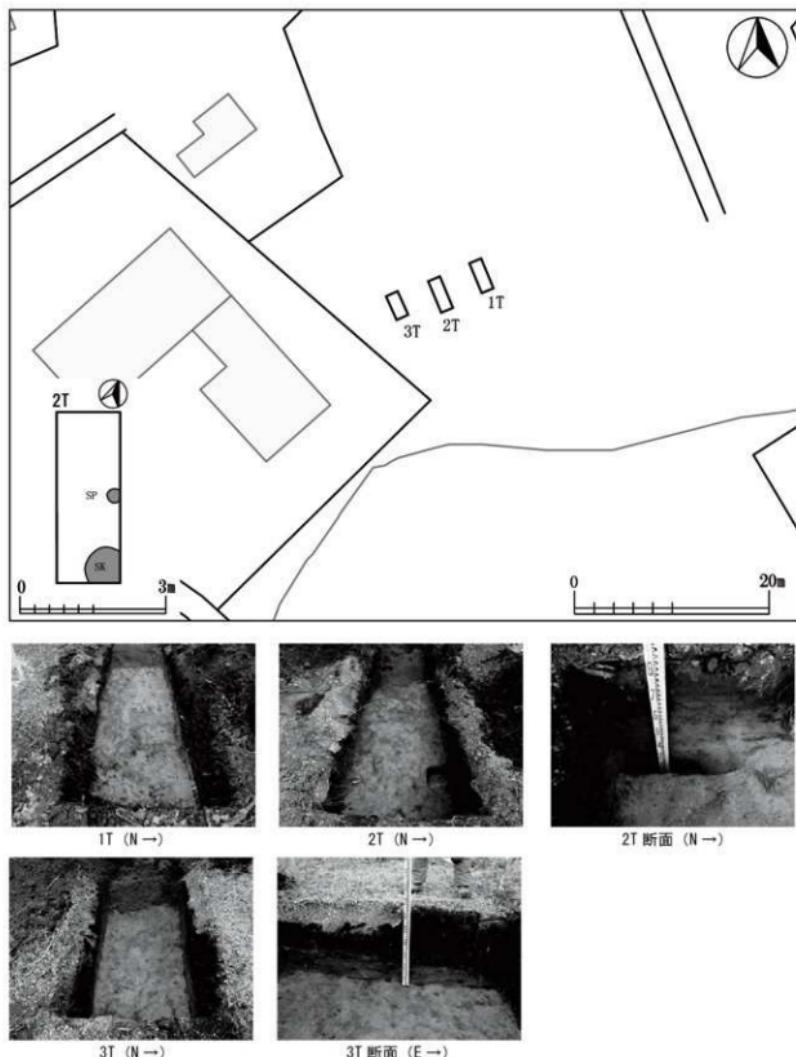


3T (N →)

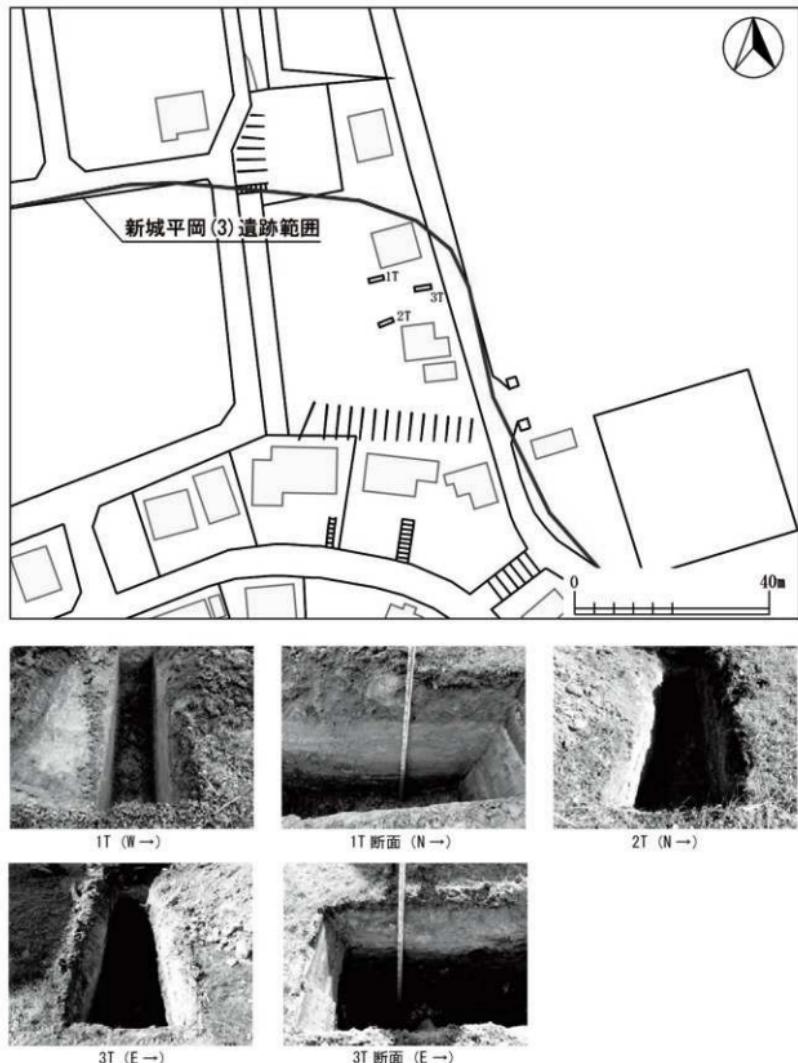


3T 断面 (E →)

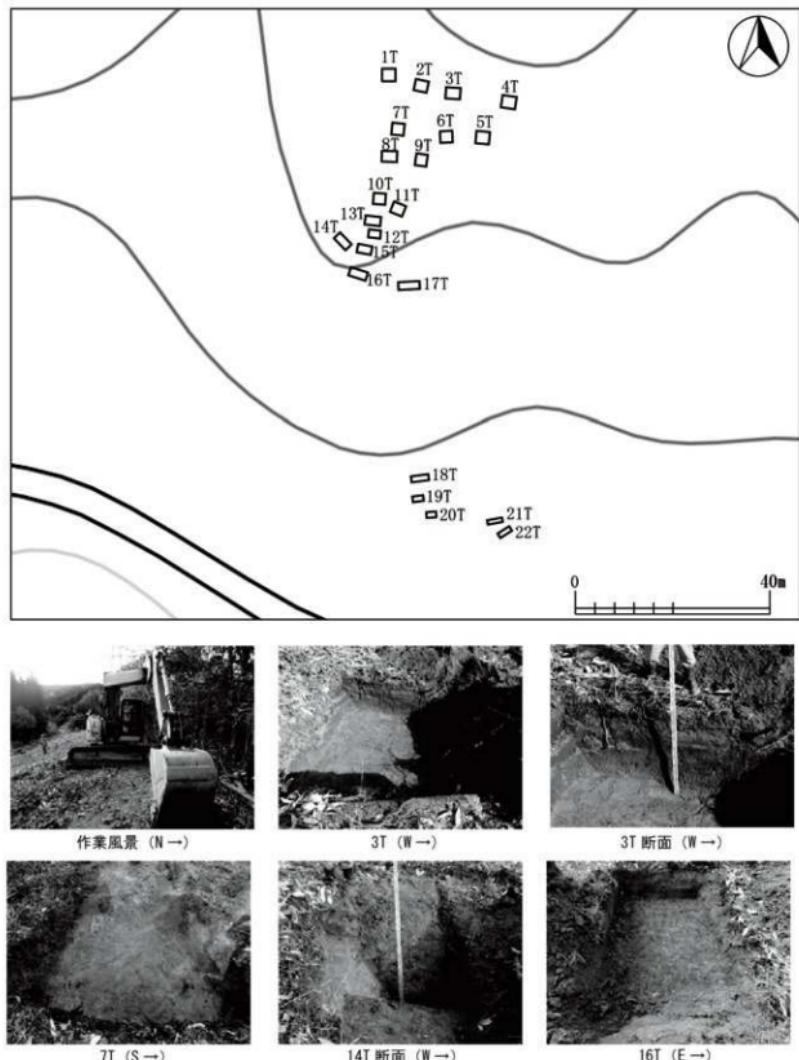
第 27 図・写真 41 東造道遺跡



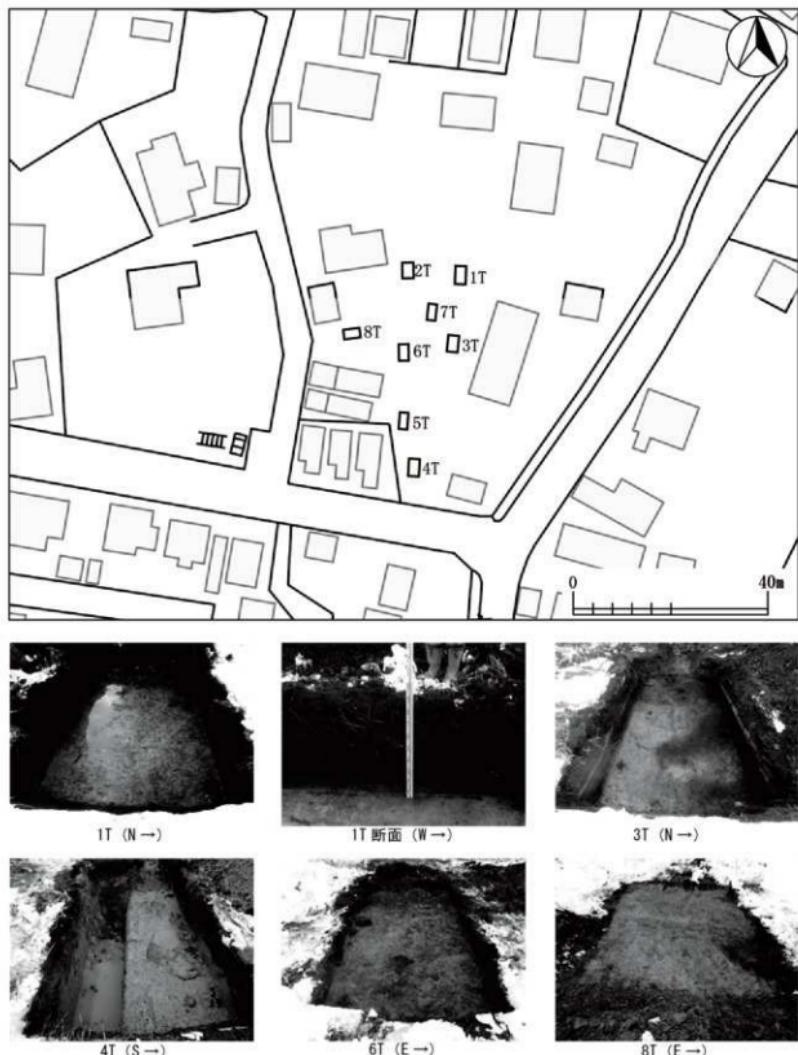
第28図・写真42 月見野(5)遺跡



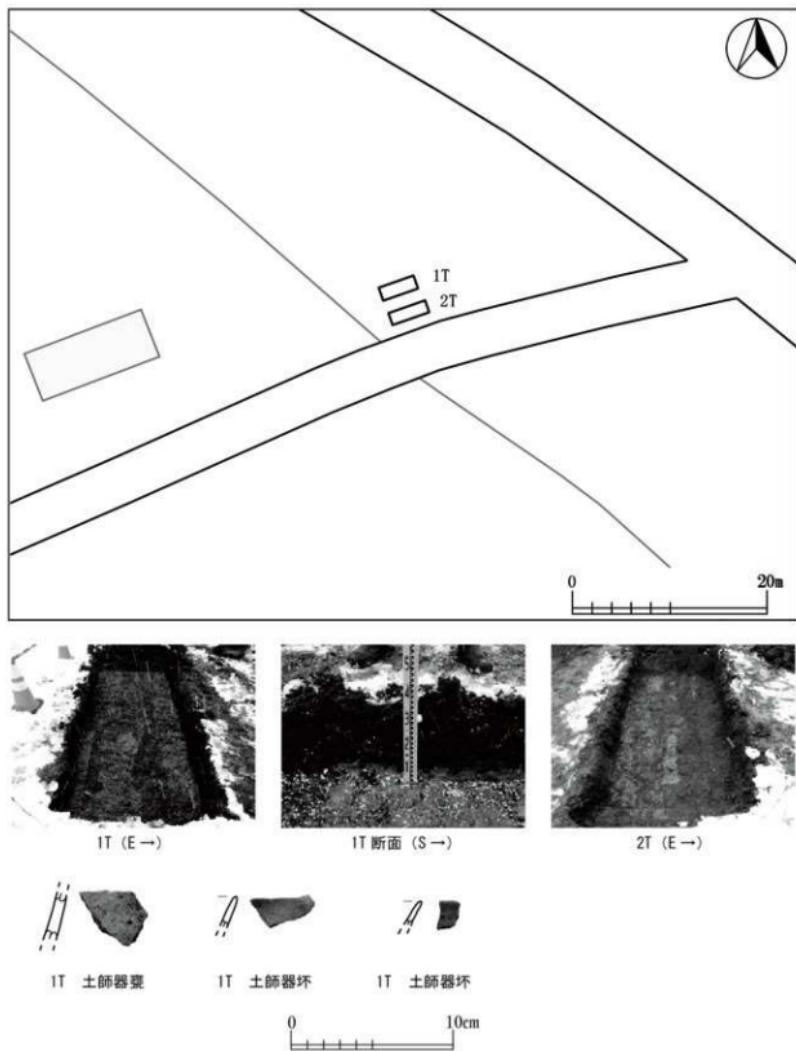
第 29 図・写真 43 新城平岡 (3) 遺跡



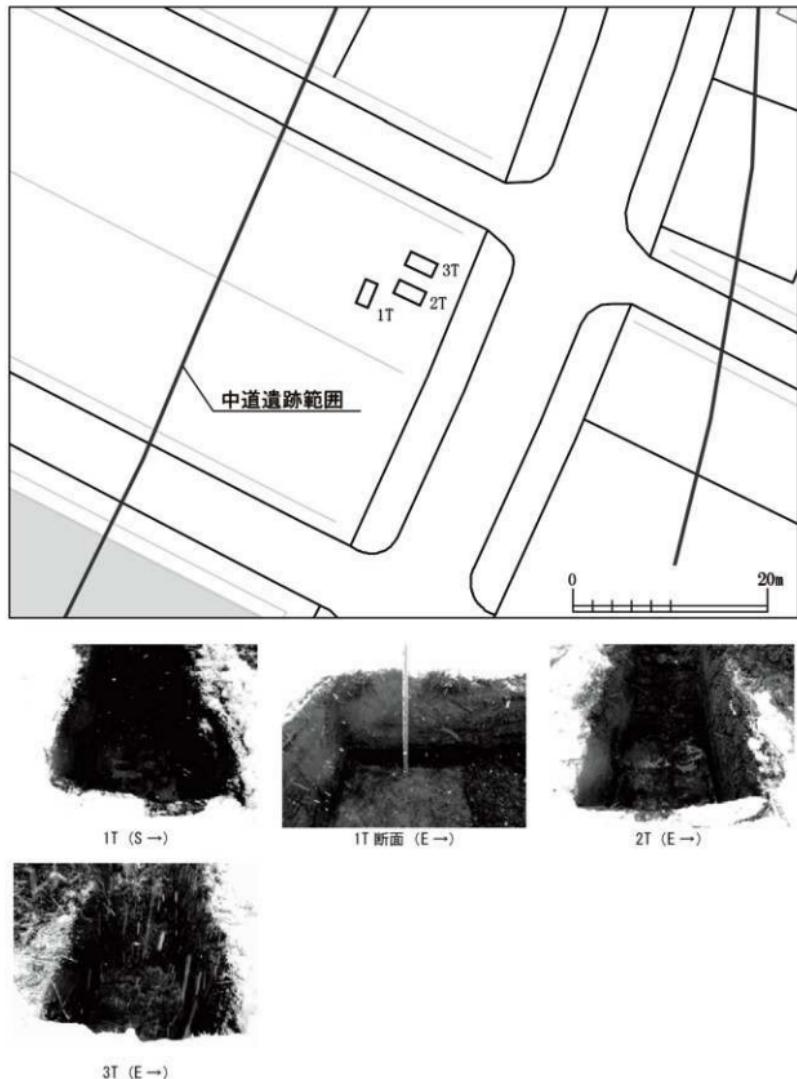
第30図・写真44 内真部地区



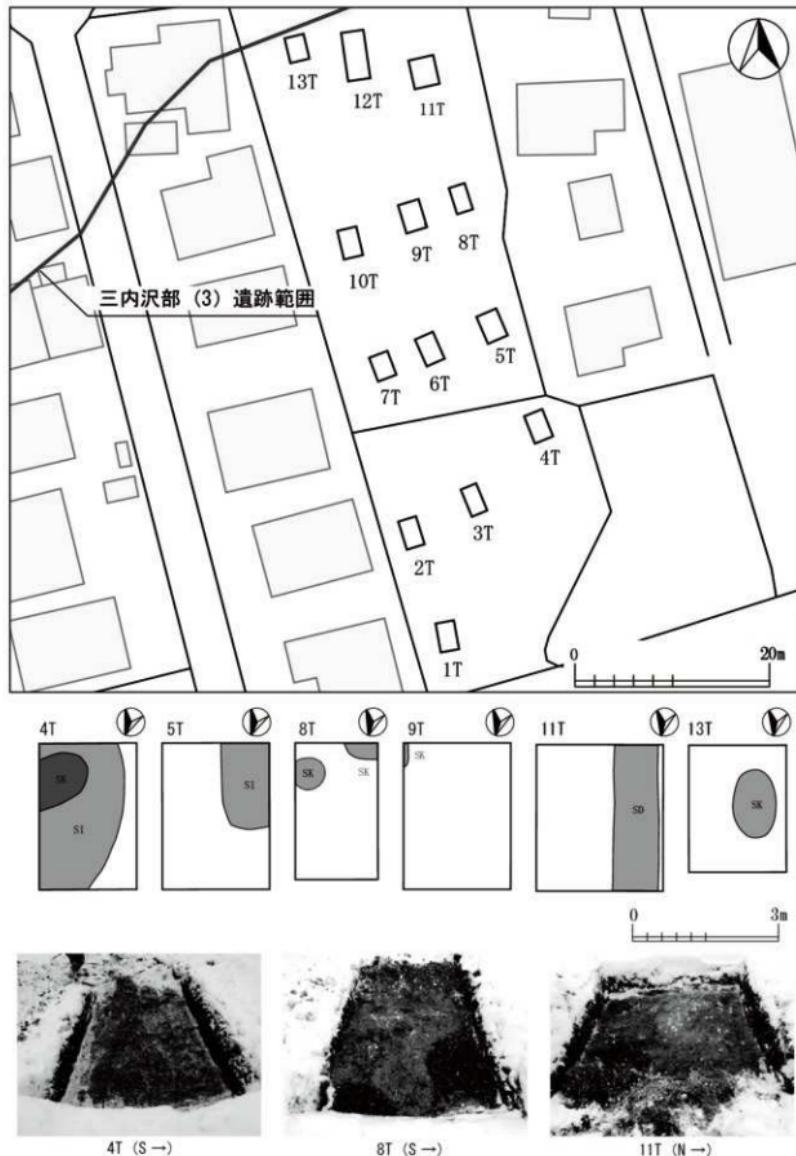
第 31 図・写真 45 安田 (1) 遺跡隣接地



第32図・写真46 夏井田(9)遺跡



第33図・写真47 中道遺跡



第34図・写真48 三内沢部(3)遺跡②

報告書抄録

ふりがな	しないいせきはっくつちょうさほうこくしょ						
書名	市内遺跡発掘調査報告書 31						
副書名							
シリーズ名	青森市埋蔵文化財調査報告書						
シリーズ番号	第 131 集						
編著者名	設楽政健						
編集機関	青森市教育委員会						
所在地	〒 030-0801 青森県青森市新町一丁目 3 番 7 号 青森市役所駅前庁舎 TEL 017-718-1392						
発行年月日	西暦 2023 年 3 月 24 日						
ふりがな 所蔵遺跡名	ふりがな 所 在 地	コード 市町村 通称番号	世界測地系 (DD2000) 北緯 東経	調査期間	調査面積 (m ²)	調査原因	
新城平岡 (4) 遺跡	青森市大字新城字平岡	02201 74	40° 49' 48" 140° 41' 20"	20220215	11	住宅建築	
安田近野 (2) 遺跡	青森市大字安田字近野	02201 309	40° 48' 21" 140° 42' 45"	20220303	15	住宅建築	
女鹿山野尻沢遺跡	青森県浪岡大字女鹿山野尻沢	02201 435	40° 42' 45" 140° 34' 39"	20220408	9	住宅建築	
柴山 (1) 遺跡	青森市大字柴越字柴山	02201 211	40° 47' 23" 140° 42' 43"	20220428	8	住宅建築	
後街 (1) 遺跡	青森市大字厚岸字橋下礎部	02201 031	40° 56' 35" 140° 38' 01"	20220513	29	農業用倉庫 建築	
鶴野 (1) 遺跡	青森市大字大鶴字鶴野	02201 218	40° 45' 26" 140° 43' 58"	20220518	116	切り造成 工事	
三内沢部 (3) 遺跡①	青森市大字三内字沢部	02201 239	40° 49' 04" 140° 41' 32"	20220530	67	住宅建築・ 駐車場整備	
雲谷山吹 (1) 遺跡	青森市大字雲谷字山吹	02201 199	40° 44' 37" 140° 47' 04"	20220620	414	太陽光発電 所建設	
沢田遺跡①	青森市造道 3 丁目	02201 050	40° 49' 48" 140° 47' 17"	20220719	11	住宅建築	
近野遺跡	青森市大字安田字近野	02202 065	40° 48' 33" 140° 42' 16"	20220720	18	住宅建築	
沢田遺跡②	青森市造道 3 丁目	02201 050	40° 49' 52" 140° 47' 23"	20220721	80	宅地分譲	
東造道遺跡	青森市東造道 2 丁目	02201 447	40° 49' 48" 140° 47' 50"	20220728	13	住宅建築	
月見野 (5) 遺跡	青森市大字朝日字月見野	02201 264	40° 47' 20" 140° 48' 27"	20221004	13	倉庫建築	
新城平岡 (3) 遺跡	青森市大字新城字平岡	02201 241	40° 49' 17" 140° 40' 46"	20221024	9	住宅建築	
内真部地区	青森市大字内真部山下	-	40° 54' 32" 140° 37' 49"	20221027	135	電線張替 工事	
安田 (1) 遺跡隣接地	青森市大字安田字近野	02201 015	40° 47' 58" 140° 42' 38"	20221206	60	宅地分譲	
夏井田 (9) 遺跡	青森市大字飛鳥字堀越	02201 112	40° 52' 12" 140° 52' 12"	20221207	11	無線基地局 建設	
中道遺跡	青森県浪岡大字北中野字北畠	02201 428	40° 42' 31" 140° 35' 59"	20221214	12	住宅建築	
三内沢部 (3) 遺跡②	青森市大字三内字沢部	02201 239	40° 48' 55" 140° 41' 27"	20221219	129	住宅建築	
要 約	市内遺跡発掘調査事業について、令和 3 年度に実施した確認調査 2 件、令和 4 年度に実施した試振・確認調査 17 件の調査成果および新規登録・範囲変更遺跡概要や各事業照会の概要等を示す。						

既刊埋蔵文化財関係報告書一覧

青森市の文化財	1962	『三内丸山遺跡調査概報』	青森市埋蔵文化財調査報告書
"	2	1965 『四つ石遺跡調査概報』	" 第66集 2003 『船山遺跡発掘調査報告書Ⅲ』
"	3	1967 『玉清水遺跡調査概報』	" 第67集 2003 『奥深(3)遺跡発掘調査報告書』
"	4	1970 『三内丸山遺跡調査概報』	" 第68集 2003 『江野遺跡発掘調査報告書』
"	5	1971 『野木と遺跡調査報告書』	" 第69集 2003 『市内遺跡至賀遺跡発掘調査報告書Ⅺ』
"	6	1971 『玉清水Ⅲ遺跡発掘調査報告書』	" 第70集 2003 『牧野遺跡発掘調査報告書Ⅳ』
"	7	1971 『大浦遺跡発掘調査報告書』	" 第71集 2004 『船山遺跡発掘調査報告書Ⅳ』
"	8	1973 『須内遺跡発掘調査報告書』	" 第72集 2004 『船山遺跡発掘調査報告書Ⅴ』
"		1979 『武沢遺跡』	" 第73集 2004 『新町野遺跡発掘調査報告書』
"		1982 『田戸塚遺跡調査報告書』	" 第74集 2004 『市内遺跡至賀遺跡発掘調査報告書Ⅻ』
青森市の埋蔵文化財	1980 『山野の遺跡』	" 第75集 2004 『江渡遺跡発掘調査報告書』	
"		1985 『長森の遺跡』	" 第76集 2005 『梁山(2)遺跡発掘調査報告書』
"		1986 『田茂木野遺跡発掘調査報告書』	" 第77集 2005 『赤坂遺跡発掘調査報告書』
"		1987 『横内城跡発掘調査報告書』	" 第78集 2005 『三内丸山(8)遺跡発掘調査報告書』
"		1988 『三内丸山I遺跡発掘調査報告書』	" 第79集 2005 『市内遺跡至賀遺跡発掘調査報告書Ⅹ』
青森市埋蔵文化財調査報告書		"	" 第80集 2005 『合子尻松森(2)遺跡発掘調査概報』
"	第16集 1991	『山吹(1)遺跡発掘調査報告書』	" 第81集 2005 『石江遺跡群発掘調査概報』
"	第17集 1992	『埋蔵文化財出土遺物調査報告書』	" 第82集 2006 『内沢(2)遺跡発掘調査報告書』
"	第18集 1993	『三内丸山(2)遺跡発掘調査概報』	" 第83集 2006 『合子尻松森(2)遺跡発掘調査概報Ⅱ』
"	第19集 1993	『市内遺跡発掘調査報告書』	" 第84集 2006 『新町野遺跡至賀遺跡調査概報Ⅱ』
"	第20集 1993	『小牧野遺跡発掘調査概報』	" 第85集 2006 『小牧野遺跡至賀遺跡調査報告書IX』
"	第21集 1993	『市内遺跡詳細分布調査報告書』	" 第86集 2006 『市内遺跡至賀遺跡調査報告書Ⅳ』
"	第22集 1993	『小三内丸山遺跡発掘調査報告書』	" 第87集 2006 『新町野遺跡至賀遺跡調査報告書Ⅲ』
"	第23集 1993	『三内丸山(2)・小三内丸山遺跡発掘調査報告書』	" 第88集 2006 『史跡高里敷跡発掘地盤整備報告書Ⅱ』
"	第24集 1995	『横内城跡(横内)遺跡発掘調査報告書』	" 第89集 2006 『市原遺跡発掘調査報告書』
"	第25集 1995	『市内遺跡詳細分布調査報告書』	" 第90集 2007 『月見野(1)遺跡発掘調査報告書』
"	第26集 1995	『新峯(2)遺跡発掘調査報告書』	" 第91集 2007 『市内遺跡至賀遺跡調査報告書Ⅻ』
"	第27集 1996	『長峠(1)・(2)遺跡発掘調査概報』	" 第92集 2007 『新町野遺跡至賀遺跡調査概報Ⅲ』
"	第28集 1996	『三内丸山(2)遺跡発掘調査報告書』	" 第93集 2007 『合子尻松森(2)・(3)遺跡発掘調査報告書』
"	第29集 1996	『野木野遺跡発掘調査報告書』	" 第94集 2007 『石江遺跡群発掘調査報告書』
"	第30集 1996	『小牧野遺跡発掘調査報告書』	" 第95集 2008 『月尻(4)遺跡発掘調査報告書』
"	第31集 1997	『市内遺跡詳細分布調査報告書』	" 第96集 2008 『馬鹿遺跡群発掘調査報告書』
"	第32集 1997	『松原(1)・(2)遺跡発掘調査概報』	" 第97集 2008 『市内遺跡至賀遺跡調査報告書Ⅼ』
"	第33集 1997	『新町野遺跡発掘調査報告書』	" 第98集 2008 『新町野遺跡発掘調査報告書Ⅳ』
"	第34集 1997	『長野(2)・(3)遺跡発掘調査報告書』	" 第99集 2009 『市内遺跡至賀遺跡調査報告書Ⅶ』
"	第35集 1997	『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅱ』	" 第100集 2009 『阿部野(1)遺跡発掘調査報告書』
"	第36集 1998	『塙峯(1)・(2)遺跡発掘調査報告書』	" 第101集 2009 『大久沢野田遺跡発掘調査報告書Ⅱ』
"	第37集 1998	『新町野遺跡発掘調査報告書』	" 第102集 2009 『綿趙館遺跡発掘調査報告書』
"	第38集 1998	『野木野遺跡発掘調査報告書』	" 第103集 2010 『市内遺跡至賀遺跡調査報告書Ⅷ』
"	第39集 1998	『山内遺跡詳細分布調査報告書』	" 第104集 2010 『長瀬遺跡発掘調査報告書』
"	第40集 1999	『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅲ』	" 第105集 2010 『駒野(3)・(4)遺跡発掘調査報告書』
"	第41集 1999	『野木野遺跡発掘調査報告書』	" 第106集 2010 『石江遺跡群発掘調査報告書Ⅱ』
"	第42集 1999	『熊沢山遺跡発掘調査概報』	" 第107集 2011 『石江遺跡群発掘調査報告書Ⅲ』
"	第43集 1999	『市内遺跡詳細分布調査報告書』	" 第108集 2011 『石江遺跡群発掘調査報告書Ⅳ』
"	第44集 1999	『長野(2)・(3)遺跡発掘調査報告書Ⅱ』	" 第109集 2011 『市内遺跡発掘調査報告書Ⅸ』
"	第45集 1999	『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅳ』	" 第110集 2012 『市内遺跡至賀遺跡調査報告書Ⅹ』
"	第46集 1999	『新町野・野木野遺跡発掘調査概報』	" 第111集 2012 『野尻館遺跡発掘調査報告書』
"	第47集 1999	『福山遺跡発掘調査概報』	" 第112集 2012 『石江遺跡群発掘調査報告書V』
"	第48集 2000	『佛光寺遺跡発掘調査報告書』	" 第113集 2013 『石江遺跡群発掘調査報告書VI』
"	第49集 2000	『福山遺跡発掘調査概報』	" 第114集 2013 『市内遺跡至賀遺跡調査報告書Ⅺ』
"	第50集 2000	『千葉山遺跡発掘調査報告書V』	" 第115集 2013 『大久沢野田遺跡発掘調査報告書』
"	第51集 2000	『桜峯(1)・(2)・(3)遺跡発掘調査報告書』	" 第116集 2014 『石江遺跡群発掘調査報告書VII』
"	第52集 2000	『大久沢野田(1)遺跡発掘調査報告書』	" 第117集 2014 『市内遺跡至賀遺跡調査報告書』
"	第53集 2000	『市内遺跡発掘調査報告書Ⅵ』	" 第118集 2015 『市内遺跡至賀遺跡調査報告書』
"	第54集 2001	『新町野遺跡発掘調査報告書Ⅱ・野木野遺跡発掘調査報告書Ⅱ』	" 第119集 2016 『市内遺跡至賀遺跡調査報告書』
"	第55集 2001	『小牧野遺跡発掘調査報告書VI』	" 第120集 2017 『川別遺跡・中道遺跡・東早稻田遺跡発掘調査報告書』
"	第56集 2001	『福山遺跡発掘調査報告書I』	" 第121集 2017 『市内遺跡至賀遺跡調査報告書』
"	第57集 2001	『福山遺跡発掘調査概報』	" 第122集 2018 『市内遺跡至賀遺跡調査報告書』
"	第58集 2001	『大久沢野田(1)遺跡発掘調査報告書』	" 第123集 2018 『月尻(4)・遺跡発掘調査報告書』
"	第59集 2001	『市内遺跡発掘調査報告書』	" 第124集 2019 『古安城高里敷跡発掘地盤整備報告書III』
"	第60集 2002	『小牧野遺跡発掘調査報告書VI』	" 第125集 2019 『市内遺跡至賀遺跡調査報告書』
"	第61集 2002	『大久沢野田(1)遺跡発掘調査報告書』	" 第126集 2020 『市内遺跡至賀遺跡調査報告書』
"	第62集 2002	『大久沢野田(2)遺跡発掘調査報告書』	" 第127集 2021 『新城山(4)・(5)遺跡発掘調査報告書』
"	第63集 2002	『福山遺跡発掘調査概報』	" 第128集 2021 『市内遺跡至賀遺跡調査報告書』
"	第64集 2002	『市内遺跡発掘調査報告書』	" 第129集 2021 『古安城高里敷跡発掘地盤整備報告書IV』
"	第65集 2003	『雲谷山(4)～(7)遺跡発掘調査報告書』	" 第130集 2022 『市内遺跡至賀遺跡調査報告書』
			" 第131集 2023 『市内遺跡至賀遺跡調査報告書』

青森市埋蔵文化財調査報告書第131集
市内遺跡発掘調査報告書 31

発行年月日 2023年（令和5年）3月24日

編 集 青森市教育委員会
〒030-0801 青森県青森市新町一丁目3番7号
青森市役所駅前庁舎
TEL 017-718-1392

印 刷 社会福祉法人 青森県コロニー協会
〒030-0943 青森県青森市幸畠字松元 62-3
TEL 017-738-2021